

419) ぼくの宇宙

君と別れたあの日の夜は 涙ばかりが流れていたよ
あの日初めて僕はわかった 誰より君を愛していると
だからこの手をもう離さない 死ぬまで君を離しはしない
僕にとっては君がすべてさ 僕の生き甲斐僕の宇宙さ

人はいつでも大事なものを 自分のそばにおいておくもの
君と別れて初めて知った 僕にとってのたいせつなもの
この腕のなか君を抱きしめ 朝が来るまで離しはしない
僕にとっては君がすべてさ 僕の生き甲斐僕の宇宙さ

人は誰でもかけがいのない 何かのために生きてゆくもの
君の黒髪 君の唇 君のすべてが僕のすべてさ
君と二人の時を刻んで^{きざ} 君と二人で今日を生きよう
僕にとっては君がすべてさ 僕の生き甲斐僕の宇宙さ

さあ目を閉じて夢をさがそう 君が見る夢 僕が見る夢
重ね合わせて眠りにつこう 心合わせて明日を描こう
君の瞳がうなずいている きっと明日は幸せになる
僕にとっては君がすべてさ 僕の生き甲斐僕の宇宙さ

言葉なんかじゃ言えないくらい 君のすべてを愛しているよ
僕にとっては君がすべてさ 僕の生き甲斐僕の宇宙さ